

【平成 29 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 29 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 29 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 36 商工会より回答）【回収率 94.7%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【産業全体の業況 DI は 10 業種中 8 業種で好転、食品の仕入単価上昇の動きあり】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.6（前月-14.9、前年同月-21.3）で、前月と比べ 4.3pt 好転した。10 業種中 8 業種で DI 値が好転した。食料品製造業と食料品小売業で仕入単価が上がっているとの声が複数あり、DI 値も上昇した。

【製造業】

業況は-10.2（前月-10.6、前年同月-17.6）と前月と比べ 0.4pt 好転した。食料品製造業では仕入単価が上昇したとの声が複数あった。機械金属業では、元請の状況にもよるが、売上が増加したとの声が複数あり、前月比で仕入単価以外の DI 値は軒並み好転した。

【建設業】

業況は 0.0（前月-7.8、前年同月-15.8）と前月と比べ 7.8pt 好転した。公共工事の駆け込み需要があり、業況が好転したとの声が複数あった。住宅用配線や住宅基礎工事を営む事業所が忙しいとの声もあった。

【小売業】

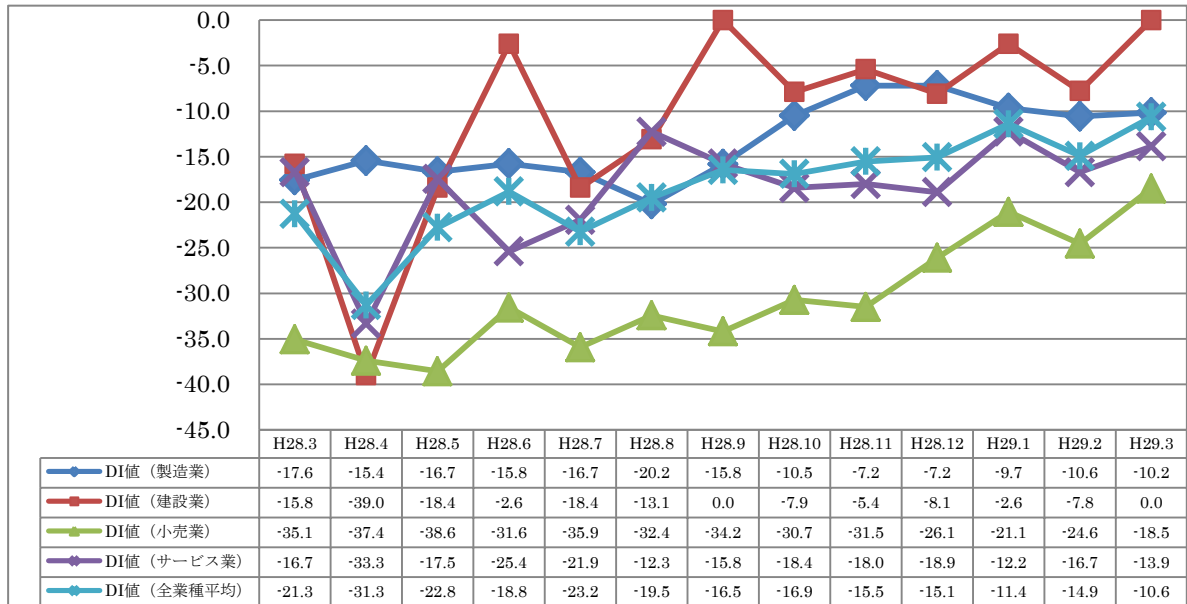
業況は-18.5（前月-24.6、前年同月-35.1）と前月と比べ 6.1pt 好転した。衣料品は「春物が動き出した」、食料品は「値上げはあるが大きな変動はない」、耐久消費財は「入社・入学の売出しで営業強化した」との声があった。

【サービス業】

業況は-13.9（前月-16.7、前年同月-16.7）と前月と比べ 2.8pt 好転した。旅館業では、高級志向と低価格志向に明確に分かれているとの声があった。洗濯業では、低気温が続く冬物衣料の取扱が低調、理美容業では、卒業式シーズンで昨年より売上が伸びた事業所が複数あった。

3 本調査に関するお問合せ 情報・経理課 TEL054-255-8080〔担当：豊田、前田〕

＜平成 29 年 3 月期 業種別業況 DI 推移表＞



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維業・機械金属業）

- ・仕入価格が上がり、また、売上も下がり資金繰りが厳しい状況である。（食料品製造業・伊豆）
- ・自動車産業の伸びが顕著のため売上がやや拡大。従業員が減少しているので利益は向上したが、従業員の負担は大。雇用確保が課題。（自動車部品製造業・西遠）

【建設業】

- ・年度末の公共工事の駆け込みがあった。（伊豆、中部）
- ・住宅用配線等の事業を受注。今年に入り引合いが旺盛。（電気工事業・西遠）
- ・住宅基礎工事について、かなり受注件数があり忙しい。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

- ・3月から春物が動き出した。（衣料品小売業・中東遠）
- ・一部値上げがあったが大きくは変動していない。（食料品小売業・中部）
- ・入社・入学関連の売出しで営業強化。（自動車販売業・中東遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・宿泊産業でお客さんは高級志向と低価格志向に明確に分かれている。（富士駿東）
- ・（客の入りが多いところとそうでないところの）旅館の二極化が進んでいるように感じている。（中部）
- ・低気温が続き、例年に比べ冬物衣料の取扱が低調。（洗濯業・中東遠）
- ・卒業式等のセット需要を取り込むことができたため、昨年より売上を伸ばすことができた。（美容院・中東遠）

小規模企業景気動向調査(平成 29 年 3 月期)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-19.4	-10.5	悪化
売上	-19.4	-5.3	減少
仕入単価	11.1	5.3	上昇
採算	-22.2	-5.3	悪化
資金繰り	-13.8	-13.1	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.3	-10.6	好転
売上	-5.5	-5.2	減少
仕入単価	2.7	7.9	低下
採算	-2.7	-10.5	好転
資金繰り	-8.4	-5.3	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-2.8	-10.6	好転
売上	13.9	5.3	増加
仕入単価	11.1	5.3	上昇
採算	5.6	-7.9	好転
資金繰り	8.3	0.0	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	0.0	-7.8	好転
売上	19.5	0.0	増加
仕入単価	13.9	18.4	低下
採算	0.0	0.0	不変
資金繰り	-8.4	-7.9	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-36.1	-36.8	好転
売上	-19.5	-26.3	増加
仕入単価	8.3	0.0	上昇
採算	-22.2	-26.3	好転
資金繰り	-22.2	-26.3	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.3	-13.2	好転
売上	-5.6	-7.9	増加
仕入単価	30.6	15.8	上昇
採算	-11.1	-15.8	好転
資金繰り	0.0	2.6	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.1	-23.7	好転
売上	2.8	-21.1	増加
仕入単価	13.9	10.6	上昇
採算	-2.8	-10.5	好転
資金繰り	-8.3	-15.8	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.3	-2.7	悪化
売上	-8.3	-15.8	増加
仕入単価	16.6	7.9	上昇
採算	-16.6	-5.3	悪化
資金繰り	-13.9	-13.2	悪化

9.洗濯業

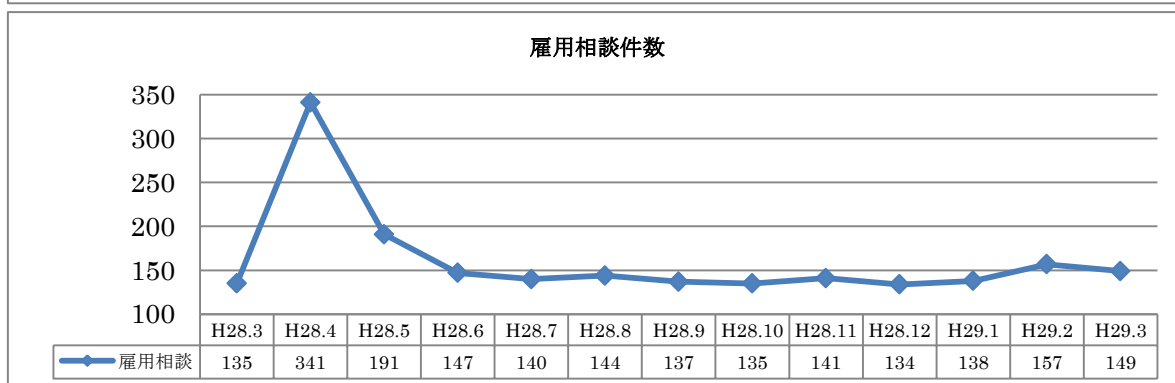
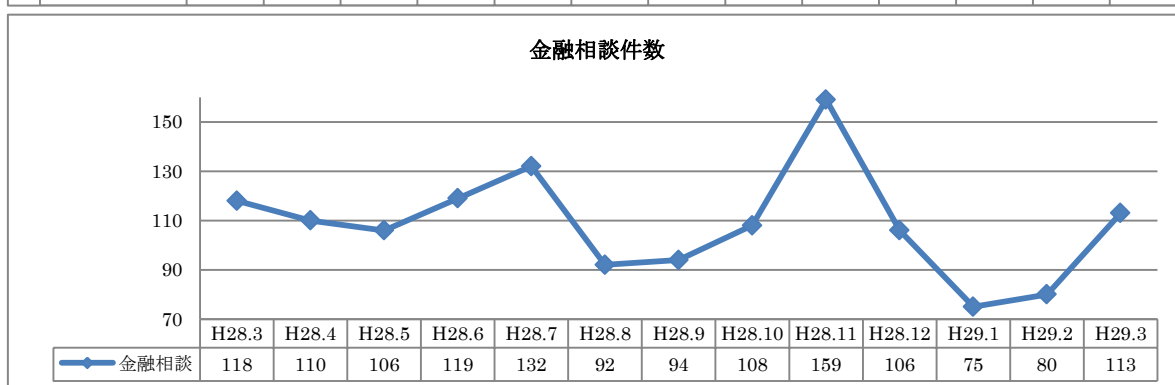
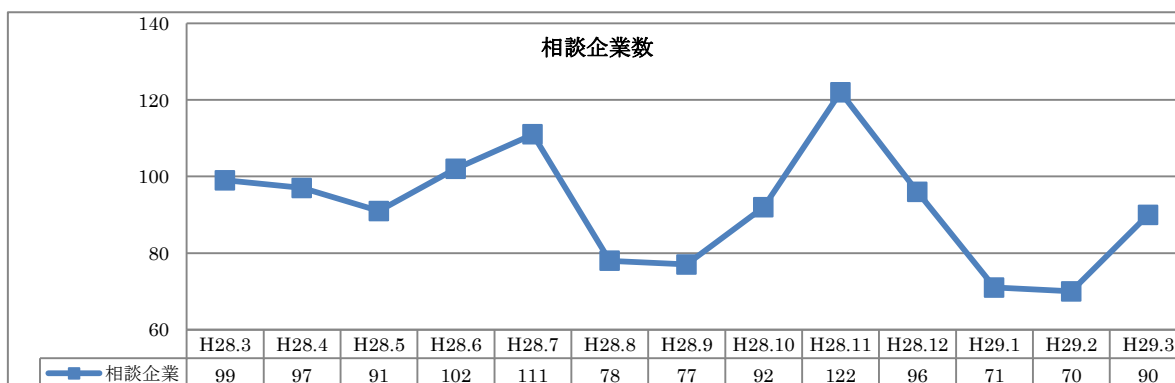
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.9	-23.7	好転
売上	-13.8	-23.7	増加
仕入単価	13.9	7.9	上昇
採算	-5.5	-10.6	好転
資金繰り	-5.6	-18.4	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-19.4	-23.7	好転
売上	-13.8	-18.4	増加
仕入単価	0.0	2.6	低下
採算	-5.5	-10.5	好転
資金繰り	-5.5	-7.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 29 年 3 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	90	70	20
【金融相談件数】	113	80	33
新規融資（借換えを除く）	70	54	16
既存債務の借換え	38	23	15
借入れ条件変更	1	1	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	4	2	2
【雇用相談件数】	149	157	-8



【金融相談】

金融相談件数は、113 件と前月(80 件)に比べ 33 件増加した。マル経および普通貸付を中心に、融資の相談・利用が増えてきている。

<経営指導員コメント>

- ・借換希望 2 件をマル経 1 件、普通融資 1 件で対応。新規融資希望が 2 件ありマル経融資で対応。年度末の運転資金需要に対応。(富士駿東)
- ・マル経申込みあり 1 件(車輛購入・機械機器購入・倉庫建設・既存借り換え)
- ・既存設備の老朽化に伴う設備資金、売上拡大のための設備資金、事業運営を円滑に行うための運転資金の相談があった。(中部)

【雇用相談】

雇用相談件数は、149 件と前月(157 件)に比べ 8 件減少した。人材不足についての求人の相談が多かった。

<経営指導員コメント>

- ・人材不足による求人の相談が多い。季節によって人手が必要な時期が同業者で重なることから人材確保が難しい状況である。(中部)
- ・飲食サービス業における人材不足は変わらず、製造業の一部では業務拡張や需要拡大による人手不足がある。(中東遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・河津桜まつりは、前年より 4.8 ポイント上回る約 93 万 6,000 人の入り込みで閉幕。開花が例年以上に早かったことや週末の天気にも恵まれた点、併せて伊豆縦貫道や新東名、圏央道などの交通網整備による交通渋滞緩和も要因と考えられる。一方で、宿泊や桜まつり出店者・観光関連事業者については、その恩恵は少なく、前年より景況感悪化という声が多かった。(伊豆)
 - ・確定申告でみると前年に比べると多少の売上増が見られるが、事業者間格差が大きい。(中部)
 - ・大河ドラマに関連して、県、浜松市により 3/25 都田川に気賀・みをつくし直虎棧橋を設置し、舘山寺温泉観光協会など連携して誘客を図るために舘山寺温泉への航路開設、気賀遊覧を開始。商工会としては河川敷の占有申請を行い、今後賑わいの創出事業を実施計画中。(西遠)
- 全国的に海苔が不作のため、浜名湖産の海苔の仕入価格が高い。シラス漁が不作のため、漁師が海苔に力を入れている状況である。(西遠)
- 観光協会や関所周辺自治会等で行った観光事業「牡蠣小屋」。5 年連続で行ったが、養殖牡蠣の大幅な死滅により、漁獲高が半分程度であり、1~3 月の入場者は目標 20,000 人を下回る 17,000 人程度。ある程度の賑わいを見せることができ、冬枯れした観光施設の活性化に一役買った。(西遠)